

中野区沼袋・野方両町名の頭文字から取った

「ヌーノ・ジャズ・フェスタ」が6日、沼袋1の沼袋氷川神社で開かれる。イベントの企画とは無縁だった女性2人の出会いがきっかけで2008

年に始まり、今年で7回目。毎年4000人が訪れる晩夏の中野の風物詩として定着し、今回は区民らが寄付した「区民公益活動推進基金」の助成金も得た。実行委員長の辰巳まゆみさん(40)に街を盛り上げるフェスへの思いを聞いた。【近藤浩之】

——基金の助成先は有識者らの審査で決まります。

「ヌーノ・ジャズ」は多世代を呼べる企画という点が評価されましたね。

私たちのコンセプトは「老若男女」です。第3回から氷川神社の境内を会場とさせていただいているが、3世代みんなに楽しんでもらえなければ、地域のさまざまな方が訪れる神社という場所に大舞台を構えますか。

——どんな工夫をしてい

元の住民ですね。

テント設営は地元の葬儀屋さんと引っ越し屋さんが

中心。駐輪場整備や見回りは消防団や町会の方々、明

大中野キャンパスなどの学生。区職員有志もいます。下準備の実動部隊はママ友ら女性7人で、仕事の合間にやりくりし協賛金のお願いなどをしてきました。

——協賛金も地元にお願

田は難しいけれど1万円なら続けてもらえるのではと思、発案しました。スポーツセンター100人を目指しています。

——トッププロからアマチュアまで18組が出演しま

みんなで作り上げる

いするのですか。

神社を会場にしての大き

な催しとなってからは、商

店街の方々などに一口1万

円でお願いしています。広

く浅く「みんなで作り上げ

ている」と思ってもらえる

イベントでありたい。10万

ですが、そこにも「地元」が

関係しているそうですね。

一番のピックネームは、

ジャズボーカリストで大橋

巨泉さんのお嬢さん、大橋

美加さん。彼女は沼袋出身

で「美加ちゃんが来るなら

今年も応援しなきゃ」と言

つてくれる地元の方も多い

んです。尺八と琴を奏でる

今、副実行委員長の女性と、ある晩地元の酒場で顔を合わせたのが企画のきっかけで、その際、彼女と考

職員から「素晴らしい奏者が近所に住んでいる」と紹介されました。地元の小学

生徒も、みんなが氷川神社の杜で楽しさを共有できる

ように工夫を続けるイベン

ト。「ヌーノ・ジャズ」は

ツッカエラバタケ

えた名称です。来場する方

オは、区民活動センターの

かけで、その際、彼女と考

えました。地元の小学校や高校の吹奏楽団も出演

してくれます。

——すべてが「つながり」

で続いているんですね。

まさにそうです。だから

正式には「沼袋・野方まちおこしジャズ」と言います。

もともとは、仕事の電話で

しか話したことのなかった今、副実行委員長の女性と、ある晩地元の酒場で顔を合わせたのが企画のきっかけで、その際、彼女と考

えました。地元の方も多い

んです。尺八と琴を奏でる

音楽セミナーや汎用化でき

る運営モデル構築なども掲

げた。難しい課題だが、來

年度の応募ではその実現の

度合いも試される。地元を

生かす「ヌーノ力」は、

実は地域のさまざまな事柄に応用できる。課題を実現

しさうに発信してほしい。

中野「ヌーノ・ジャズ」実行委員長 辰巳 まゆみさん(40)



たつみ・まゆみ 生粋の「野方っ子」。家業の不動産管理に携わる。日本舞踊藤間流師範。30年近く町会長を務めた祖父(故人)に「地域に関わり、ボランティアを行うのは当然だと、背中で教えられてきた」という。

記者の一言

審査のプレゼンテーションで、実行委は今後の取り組みとして、子供たちへの音楽セミナーや汎用化できる運営モデル構築なども掲げた。難しい課題だが、来年度の応募ではその実現の度合いも試される。地元を生かす「ヌーノ力」は、実は地域のさまざまな事柄に応用できる。課題を実現しさうに発信してほしい。